

アイリスオーヤマとして初めて自治体と包括連携 宮城県角田市と包括連携協定を締結



アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、2023年6月5日に宮城県角田市と包括連携協定を締結し、本日「角田 I.T.P.（インダストリアル・テクノ・パーク）」（宮城県角田市）にて協定締結式を実施しました。角田市には当社の本部機能を有する「角田 I.T.P.」が立地しており、自治体との包括連携協定の締結は当社初となります。

■協定内容

当協定は、宮城県角田市と当社が相互に連携し、両者が持つ様々な資源を活用し協働することで、宮城県角田市における市民サービスの向上及び環境対策等の地域課題の解決に資する取り組みを推進することを目指します。今後、定期的な協議を通じて、環境対策や防災・減災対策の促進、地域産業の振興、教育・人材育成、地域福祉といった多様な分野で連携していきます。

【宮城県角田市長 黒須 貫 様 より】

今回締結いたします連携協定には、環境対策の促進、防災・減災対策等地域の安全安心、地域産業の振興、教育・人材育成、地域福祉、地域づくりのほか、地方創生の推進と7つの項目があり、市としましても、市民サービスの向上に向け、連携を進めてまいりたいと考えております。今後は、様々な分野において連携協力を進めさせていただき、その連携協力体制が強固なものとして継続していきますよう努力してまいります。

【アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長 大山 晃弘 より】

当社は1991年に角田工場を設立し、32年間お世話になっております。当社が大きく発展し、今日があるのは角田市のみなさまのご尽力があつてこそです。そうしたことから、市に恩返しをしたいという想いで様々な協定を通じて支援をさせていただいてまいりましたが、今後さらなる地域社会の貢献に何ができるだろうかと考え、包括連携協定を結ぶことを決定しました。この協定を機に、さらに社会貢献し、さらなる企業発展につなげていきたいと考えております。

■「角田 I.T.P.」概要（2023年1月時点）

所在地：宮城県角田市小坂上小坂1番

敷地面積：360,612 m²

施設/機能：研究開発、管理部門、製造・物流、マーケティング、ショールーム、サッカーグラウンド、体育館、多目的ホール、テニスコート等